

# 松戸市交通ビッグデータ見える化協議会【第6回】会議資料

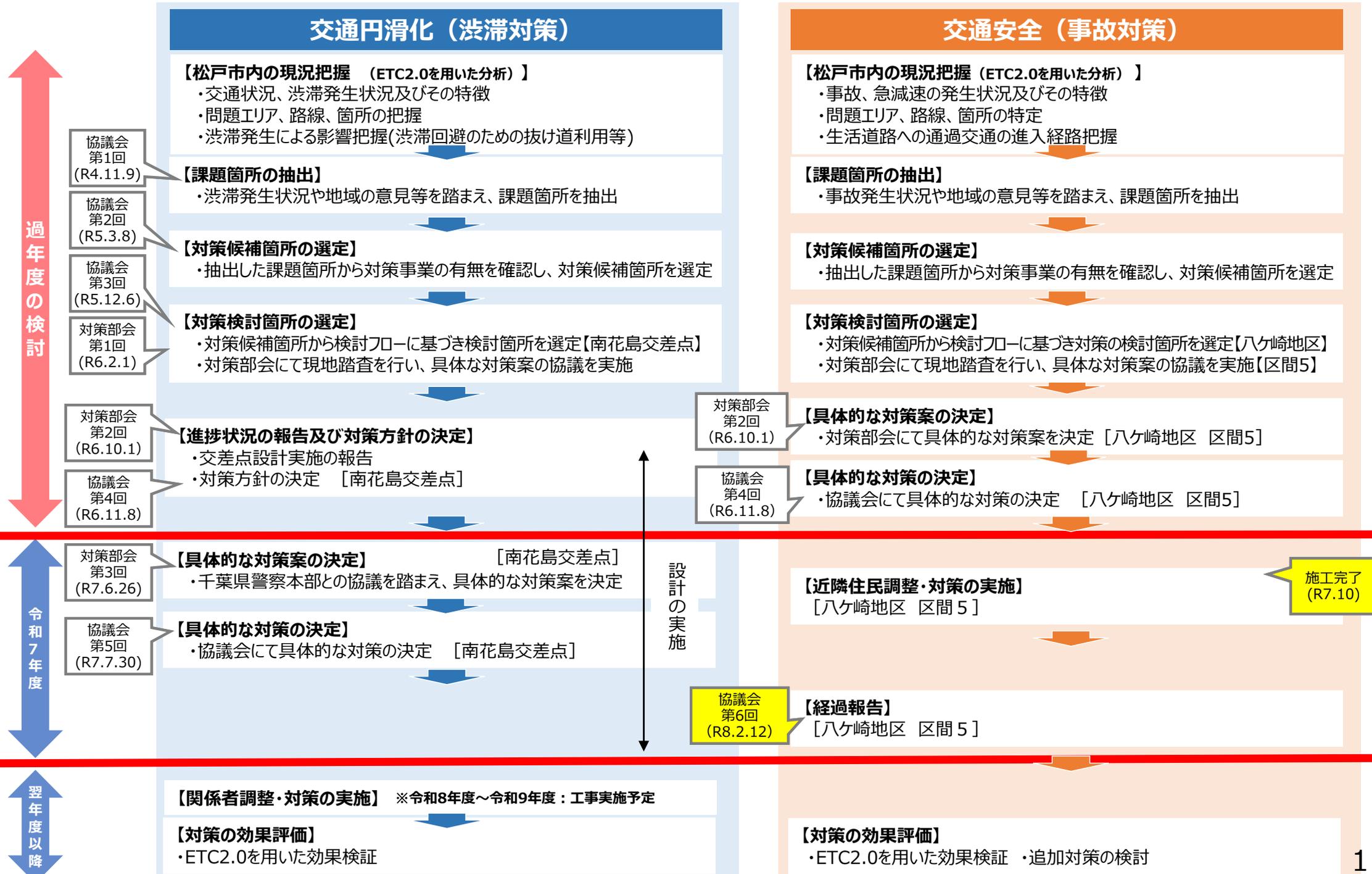
## 協議会でのこれまでの検討内容

### ～ 目 次 ～

1. 協議会・対策部会の進め方(全体の流れ)	……	1
2. これまでの検討内容(検討の流れ)	……	2

2026年2月12日(木)

# 1. 協議会・対策部会の進め方（全体の流れ）



## 2. これまでの検討内容（検討の流れ）

### 交通円滑化（渋滞対策）

国県道、市道幹線(主要幹線1級・2級)を対象とする

#### STEP 1 課題箇所の抽出【66箇所】

##### <交差点>

- 平日昼間12時間・朝ピーク・夕ピークいずれかの平均旅行速度が交差点流入2方向以上で10km/h未満となる交差点

#### STEP 2 対策候補箇所の抽出

【63箇所】

対策事業がある

対策事業が無い

データ分析期間内に対策実施済み箇所や対策実施中、対策予定がある交差点を除く

※渋滞状況のモニタリングは今後も実施する

#### STEP 3 対策検討箇所の抽出

市道を含まない交差点

市道を含む交差点

市道を含まない交差点（国県道のみで構成されている交差点）は、国や県への要望箇所とする

対策検討箇所の対象

【南花島交差点】

### 交通安全（事故対策）

国県道、市道幹線、市道非幹線を対象とする

#### STEP 1 課題箇所の抽出

##### <交差点>

- 国県道、市道幹線の死傷事故件数8件以上の交差点
- 市道非幹線死傷事故件数4件以上の交差点

##### <単路>

- 国県道、市道幹線のキロ当たり死傷事故件数30件/km以上が連担している区間
- 市道非幹線の死傷事故件数3件以上の区間

##### <地区>

- 地元要望があり、抜け道の可能性やゾーン30内で事故が点在する幹線道路に囲まれたエリア ※範囲は検討により柔軟に変更

交差点・単路  
【交差点47箇所、単路22区間】

地区  
【地区10地区】

#### STEP 2 対策候補箇所の抽出

対策事業がある

対策事業が無い

データ分析期間内に対策実施済み箇所や対策実施中、対策予定がある交差点を除く

※事故状況のモニタリングは今後も実施する

【交差点45箇所、単路22区間、地区10地区】

#### STEP 3 対策検討箇所の抽出

市道を含まない交差点・単路

市道を含む交差点・単路

市道を含まない交差点・単路（国県道のみで構成されている交差点・単路）は、国や県への要望箇所とする

対策検討箇所の抽出

【八ヶ崎地区】

# 松戸市交通ビッグデータ見える化協議会【第6回】会議資料

## 八ヶ崎地区の安全対策について

### ～ 目 次 ～

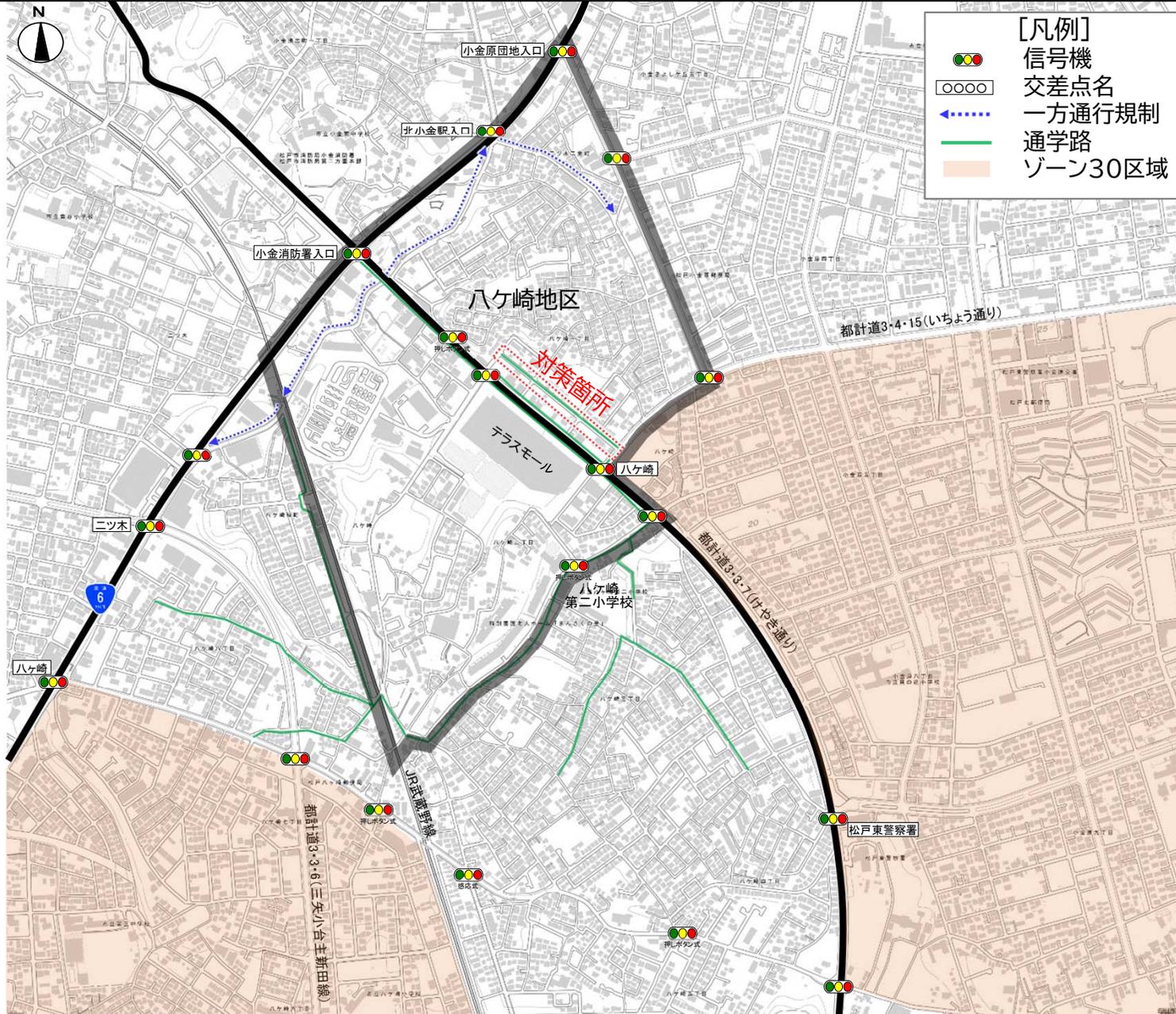
1. 対策箇所の概要、分析結果等	……	1	} 過去協議会資料抜粋
2. 対策実施後の状況について	……	7	
3. 対策実施後の考察及び今後の方針	……	9	

2026年2月12日(木)

# 1. 対策箇所の概要、分析結果等

## (1) 地区の概要

- 八ヶ崎地区は、国道6号の南側に位置し、都計道3・3・7号や都計道3・4・15号などの主要な道路が位置している地域
- 大型商業施設、八ヶ崎第二小学校が位置する地域



### 対策箇所(区間5)の特徴

- ①交差点事故の課題箇所
    - ・自動車同士の出会い頭事故が多く発生している
  - ②通過交通量が多い。また、速度が速い箇所、急ブレーキが多い箇所が存在する。
  - ③都計道3・3・7号(けやき通り)を避けた抜け道利用が多く見られる。
- <区間5を多く通過する要因>
- ・(仮称)テラスモール北西交差点の歩行者横断による右折待ち時間を回避するため
  - ・八ヶ崎交差点(歩車分離式)の通過を回避できるため  
→昨年秋に十字路交差点(5-3、5-4)にポストコーンの設置、区間全体に路面標示の設置を実施している。

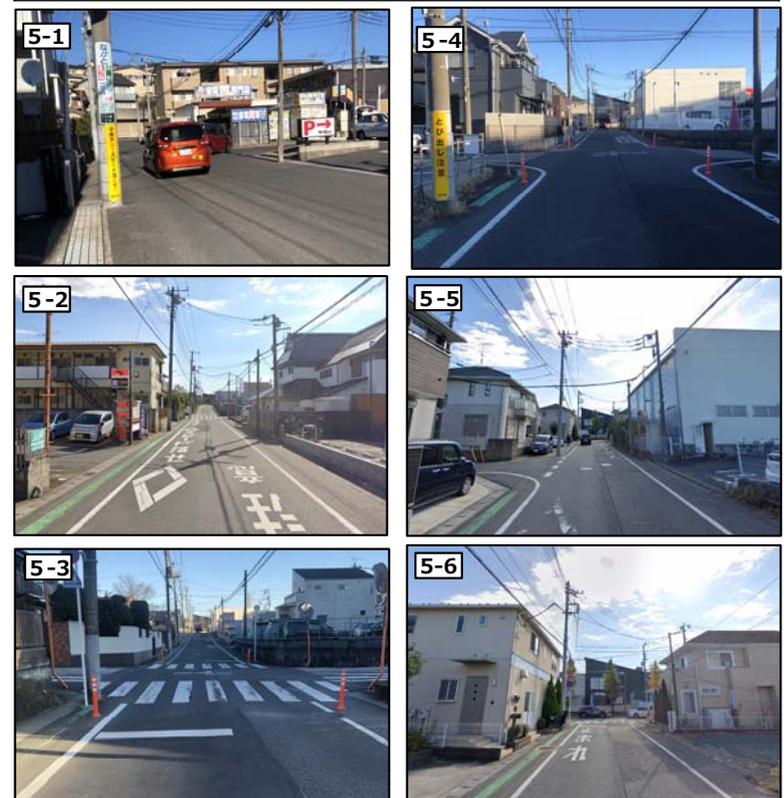
# 1. 対策箇所の概要、分析結果等

## (2) 分析結果



### 区間5の特徴(分析結果)

- ① 交差点事故課題箇所
    - ・自動車同士の出会い頭事故が多く発生している
  - ② 通過交通量が多い。また、速度が速い箇所、急ブレーキが多い箇所が存在する。(ETC2.0の分析、近隣住民の要望より)
  - ③ 都計道3・3・7号(けやき通り)を避けた抜け道利用が多く見られる。(ETC2.0の分析、近隣住民の要望より)
- ※区間5を多く通過する要因
- ・仮称)テラスモール北西交差点の歩行者横断による右折待ち時間を回避するため
  - ・八ヶ崎交差点(歩車分離式)の通過を回避できるため
- その他)歩行者の安全性確保及び車両のスピード抑制を図るため、令和5年度に十字路交差点(5-3、5-4)にポストコーンの設置、区間全体に路面標示の設置を実施している。



# 1. 対策箇所の概要、分析結果等

## (2) 分析結果 (ETC2.0データによる経路分析)

- 八ヶ崎地区(区間5)を通過する自動車交通流動について、ETC2.0データ分析の結果を以下の通り整理する

### 区間5を北西→南東方向に通過する自動車の経路

#### <平日>

- 区間5へ流入する車両は、南方面からテラスモール西側の道路を北上して来る車両が多い
- 区間5から流出した車両は、いちよう通りを東方面に行く車両が多い



#### <休日>

- 区間5へ流入する車両、流出した車両の流動は、概ね平日と同様であるが、平日と異なる流動として、テラスモールから出庫した車両が区間5に流入する流動と区間5から流出した車両がけやき通りを南東方面に行く流動がみられる



# 1. 対策箇所の概要、分析結果等

## (2) 分析結果 (ETC2.0データによる経路分析)

- 八ヶ崎地区(区間5)を通過する自動車交通流動について、ETC2.0データ分析の結果を以下の通り整理する

### 区間5を南東→北西方向に通過する自動車の経路

#### ① いちよう通りの区間5直前の断面を通過する車両の経路

- いちよう通りの区間5直前の断面(図中の「通過断面」)を通過した車両のうち、右折して区間5に流入する車両は15.7%であった
- いちよう通りの区間5直前の断面を通過した車両の行先は、けやき通りを南東方面に行く車両が比較的多い



#### ② ①のうち、いちよう通りから右折して区間5に流入する車両の経路

- いちよう通りから右折して区間5に流入した車両の行先は、国道6号方面へ行く車両が最も多い
- また、抜け道を通して、国道6号に出る流動も見られる



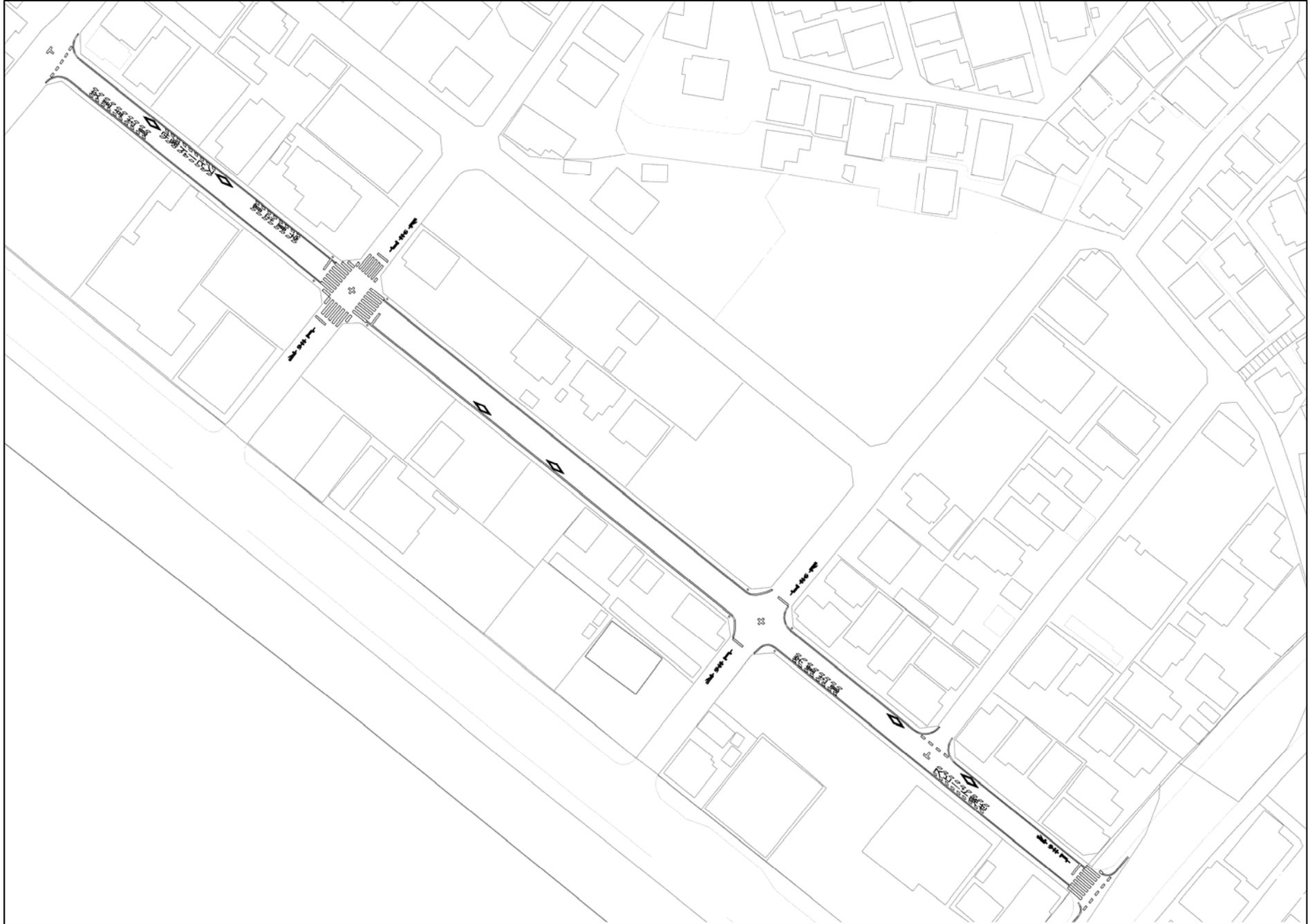
#### ③ ①のうち、いちよう通りを直進して八ヶ崎交差点に流入する車両の経路

- いちよう通りを直進して八ヶ崎交差点に流入した車両の行先は、八ヶ崎交差点を左折してけやき通りを南東方面に行く車両が比較的多い
- 八ヶ崎交差点を右折して国道6号方面に行く車両も一定程度見られる。なお、抜け道を通して、国道6号に出る流動は少ない

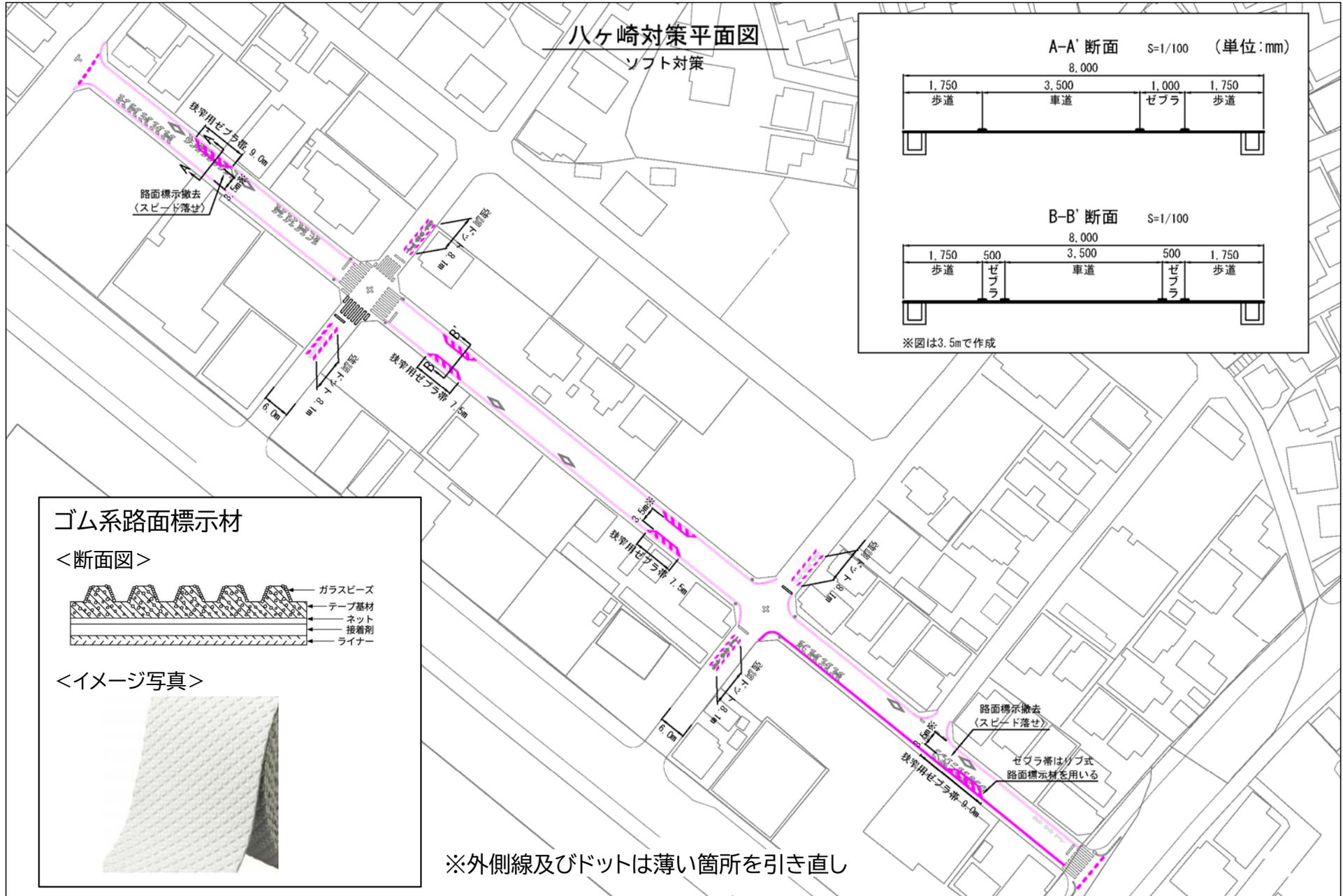


# 1. 対策箇所の概要、分析結果等

## (3) 現況平面図



# 1. 対策箇所の概要、分析結果等 (4) 対策平面図



## 2. 対策実施後の状況について

### (1) 施工後写真 ※令和7年10月施工



## 2. 対策実施後の状況について (2) 交通状況－狭窄用ゼブラ帯

狭窄用ゼブラ帯(両側)を通過する様子



狭窄用ゼブラ帯(片側)を通過する様子



### 3. 対策実施後の考察及び今後の方針

#### <交通状況の考察について>

- ・ 対策実施後の交通状況として、ゼブラ帯を避けて通行する車両が一定数見受けられる一方、ゼブラ帯上を通過する車両も確認された
- ・ このことから、今後の交通状況を継続的に注視するとともに、ETC2.0プローブデータを用いた定量的な分析を行い、速度抑制や抜け道利用抑止の効果を検証することで、カラー舗装やポストコーンの設置などの追加対策について、検討していく余地があると考えられる

#### <今後の方針について>

- ・ ETC2.0プローブデータを用いた定量的な効果検証は、渋滞対策箇所「南花島交差点」の対策完了後に合わせて実施する予定である